

協定校留学帰国報告書

記入日	2020 年 10 月 26 日
所属	教育学部
学年	4 年
留学先大学	ウスター大学
留学開始・終了時期	2018 年 9 月 ~ 2019 年 5 月 (留学開始時期 3 年次) (9 カ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
高校生の頃に初めて短期留学プログラムに参加し、大学では長期留学したいと考えていたからです。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
大学 1 年のときにイギリス短期語学研修に参加し、初めて訪れたイギリスの虜になってしまいました。そして丁度、茨城大学とイギリスの大学が協定を結び始めたことを知り、「これは運命だ！」と応募を決めました。
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
先生のすすめで IELTS のスコアを使って応募することに決めました。その頃の私にとって IELTS は未知の世界で、インターネットで必死に情報を集め、参考書や問題集を購入して勉強しました。 (参考:『実践 IELTS 英単語 3500』『セルフスタディ IELTS 完全攻略』『公式問題集』)
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
実習や卒業研究などは、ある程度プランを立ててから行きました。それでも私は「何とかなるでしょう」精神で出国してしまったので、これらのことに関しては他の方のほうが参考になると思います。
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 () b. 個人の保険のみ () c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (○)
⑥ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
a. はい () 具体的に: b. いいえ (○)
⑦ この協定校に決めた理由を教えてください。

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

●前期 (Sep-Jan)

・ Gothic Literature

英文学ゼミに所属しているので履修しました。毎講義の最後に次週扱う予定の文学作品が告知され、事前に読んで講義にのぞむスタイル。私は講義だけでは理解できずディスカッションに参加するのが難しかったため、先生にお願いして次講義で使う予定のパワーポイントをメールで送ってもらっていました。

・ British Cinema

映画が好きなのと、茨大で映画制作のプロジェクトに携わっていたため履修しました。ゴシック文学の講義スタイルと同じで、提示される映像作品を事前に鑑賞し、次の講義で作品について皆で話し合うスタイル。先生も学生も仲が良く、心地よい雰囲気でした。

・ People, Power and Politics in the 19th century Britain

政治の分野は全く専門外なのに「19世紀のイギリスが大好き！」という理由だけで履修してしまったため、ファイナルエッセイが散々な結果に終わってしまった講義。正直、先生がイケメンだったことしか覚えていません。すみません。

・ French Stage1

茨大で2年間フランス語を履修しており、英語でフランス語を学ぶことに興味がありました。Stage1のため内容は比較的簡単であり、クラスの雰囲気もとても良かったので毎回楽しく受けていました。イギリス人だけではなく、他のヨーロッパの国の留学生もたくさんいたことが大きかったと思います。

●後期 (Jan-May)

・ Improving English Usage And Style In Academic Writing

英語で学術的な論文を書くために必要なスキルを身につける講義。少人数かつ全員留学生だったため、皆で試行錯誤しながら論法を学べて楽しかったです。帰国後、卒業論文のAbstractを英語で書く際にもこの講義で身につけたことが役立ちました。また、この講義で「英語について質問することは恥ずかしいことじゃない」と知り、留学生活の殻をやぶるきっかけになった講義でもあります。フランス人パートナーとの最終プレゼンは、先生や学生から高い評価をもらうことができました。

・ Creative Typography

ウスター大学生生活のなかで最も思い出すのが苦痛な講義。パソコンを使って文字のデザインを学ぶ講義でしたが、英語もソフトの使い方も全くついていけず、最終的に先生の目を盗んで逃げ出しました。鬱になるきっかけの出来事でしたが、良くも悪くも自分に必要な経験だったのだと思っています。

・ Science Fiction

ゴシック文学と同じく、卒業研究の分野が文学のため履修しました。全講義を通して 5 つの SF 文学作品について学びました。ファイナルエッセイに関しては、先生と事前面談をしたにもかかわらずエッセイのテーマについて理解を深めることができず、単位を落としてしまいました。

・ Name Studies

前期の反省を踏まえ、身の丈にあった講義をとろうと思い、大学の留学生カウンセリングでおすすめされた講義。人名や地名などに関することを学べて大変おもしろかったです。日本人であることを活かそうと思い、ファイナルエッセイのテーマは「日本語由来の英単語」にしました。下書きを見てもらうために先生との事前面談を繰り返し、比較的良い成績をとることができました。

② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

- ・自分の専攻分野の講義を履修すれば、事前知識がある状態で講義に臨めるので、ある程度自信を持って学ぶことができるのではないのでしょうか。また、よほど自信がある分野でなければ、1 年生用の講義を選ぶことをお勧めします。(授業コードの番号から対象の学年を知ることができます)
- ・同じクラスに頼れる友人がいるか(もしくは作れるか) どうか大事だと思います。理解が追いつかなかった箇所や課題について質問できるからです。また、ディスカッションの際に、仲良い友人がグループ内にいると精神的に大変心強いです。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

- ・講義名だけで内容を推測し、興味だけで履修してしまったのは反省点です。でも、そのおかげで仲良くなった友人もいるので結果オーライです。
- ・プライドを捨てて、先生や学生に質問するようになったのは良かったと思います。自分を主張することで、周りからの理解を得られ、クラスに友人を作ることに繋がったと感じています。

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか

- ・私が住んでいた St.John's Campus が住宅街に囲まれていた一方で、City Campus のほうは街中にありました。寮から街までは歩いて少しかかりますが、歩くのが好きなので苦になりませんでした。
- ・街には、おしゃれなカフェやレストラン、図書館、駅、いくつかのスーパーマーケット、大聖堂などがあり、買い物したり散歩したりするには十分でした。回転寿司もアジアフードマーケットもあります。街並みもとても綺麗で、人も優しかったです。

② 留学中はどこに住んでいましたか。

- a. 寮 (○) : 何人部屋でしたか (1 人)
- b. アパート () : 何人部屋でしたか (人)
- c. ホームステイ () : 何人部屋でしたか (人)

d. その他（ ）具体的に：
③ 住環境はどうでしたか。
Standard Plus という種類の学生寮で、5人のイギリス人の女の子と住んでいました。キッチンとシャワールーム・トイレ（2つずつある）は共用で、自室には勉強机、洗面台、ベッド、収納がありました。3階だったため眺めが良く、部屋の壁の色も可愛くてとても気に入っていました。
④ 食事はどうしましたか。
a. 大学・寮のミールプラン（ ） b. 主に外食（ ） c. 自炊と外食が半々程度（ ○ ） d. その他（ ）具体的に：
⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。
学内の The Hangar というバーのようなところで定期的に学生イベントが開かれていたので、参加するようにしていました。また音楽サークルに入り、サークル活動の後に皆の家で飲み会したり、クラブに出かけたりしました。仲良くなった学生とは、一緒にイギリス国内やヨーロッパを旅行しました。
⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。
空きコマや週末は、部屋や図書館で課題をしたり友人と街に出かけたりしました。日曜日は、月2回ほどの頻度で、中国人の友人と早起きして街のレストランでランチするという習慣を作っていました。冬休みとイースター休暇には日本から知り合いが訪ねてくれたので、ウスターやロンドンを案内しました。他の休暇は、友人と旅行したり一人旅したりしました。
⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。
●身体面 幸いなことに、大きく体調を崩したことはありませんでしたが、普段服用している薬は大量に持っていくことをお勧めします。また、水質の違いや乾燥が気になる方もいると思いますので、ある程度そういったことに備えていくと良いのではないのでしょうか。
●精神面 私の場合、精神がボロボロになってしまったときに、どこに吐き出して良いか分からずにどんどん悪化していきました。もし精神的に辛くなったときは、遠慮なく大学や留学機関に相談したり、日本にいる家族や友人に電話をかけてください。日本語もガンガン使ってください。好きなだけ Youtube でお笑い番組を観てください。それは決してダメなことではありません。自分を大切に！
⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。
・「イギリスの食事はまずい」と言われますが、そんなに気になりませんでした。アジア人からすると味がちょっと薄いかもしれません。私は、家族からカップラーメンやなめ茸を送ってもらいました。

- ・Facebook 率が高いです。Facebook の Messenger が、日本でいう LINE のように使われていました。
- ・女性の方は、現地で調達するものが自分に合うか不安な方は、日本の生理用品を持参することをお勧めします。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

渡航費(往復の航空運賃)	約 40 万 円
保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など)	円
住居費(寮費)光熱費等含む (月額)	約 8 万 円
食費 (月額)	約 4 万 円
その他	円
総額 (留学期間中の費用総額)	円

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。

a. () 4年で卒業予定

b. (○) 卒業は延期する予定(延長予定期間: 1年)

② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)

在英中、大学にもう 1 年残ることを決めました。現地の学生が、教育課程について日本より柔軟な考えを持っていることに気づいたからです。また、留学中に大学院へ進むことを決めました。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

・日本は「留学」というものに対して幻想を抱きすぎているように感じます。一般的に、留学関連のパンフレットには「白人や黒人、アジア人など様々な人種の学生が談笑している」写真が使われていますが、あんなにキラキラしたことばかりではありません。もっとドロドロした面もあります。人によって、色々な「留学」の形があつて良いと思うのです。

・楽しいことも辛いことも驚くことも笑うことも怖いこともたくさんありましたが、留学したことを後悔したことは一度もありません。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

・「留学すると価値観が変わる！」とよく聞きますが、私の場合、価値観が「強い力でねじ曲げられる」という感覚でした。むしろ「ねじ曲げないとやっていけない」という感覚でした。世界には本当に色々々な人間がいて、私と同じ人間はいないことに気づいた瞬間、それまで振り回されていたガチガチのちっぽけな価値観から解放されました。他人は他人、私は私で良い。イギリスでの生活を経て、私はようやく他人と比べることをやめ、自分を愛することができるようになりました。

・英語が抵抗なく話せるようになり、日本語以外に使える言語に「英語」を加えることができたと思います。ブリティッシュ・アクセントを試みています。(できているかは分かりません)

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

たまに「留学？絶対したほうが良いよ！」と言う方がいますが、この言葉は私には大変無責任に聞こえます。留学したほうが良いかは、本人が決めることだからです。

日本にいても英語は上達させることができます。TOEICで満点を取得することもできます。外国人と交流することもできます。それでも、あなたが海外に出たい理由は何でしょうか？

心ゆくまで自分と向き合った上で「留学したい！」という答えが出たら、その声に従っていただければと思います。単位落としたくせに、偉そうにごめんなさい！